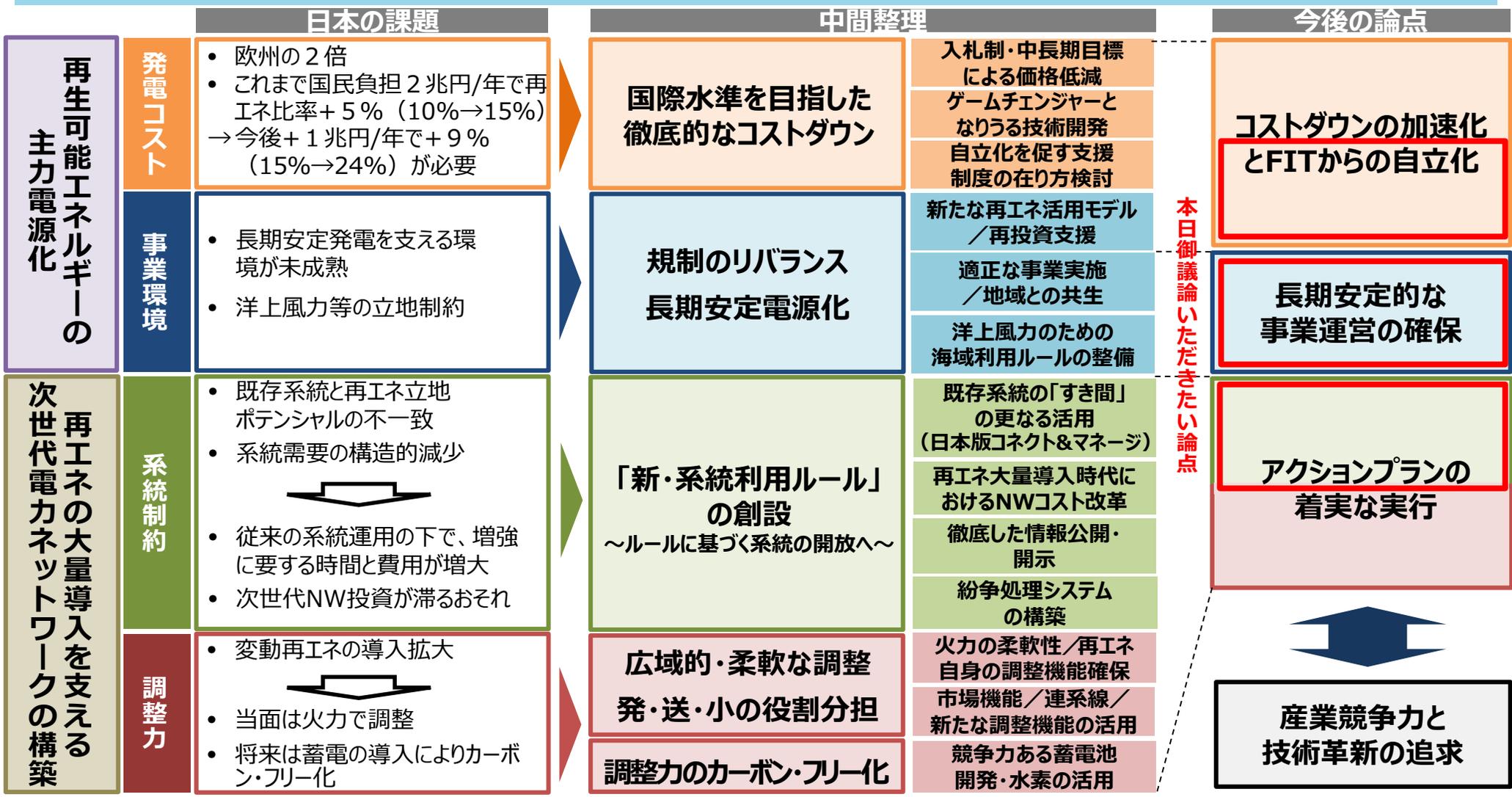


本日御議論いただきたい論点

2018年11月21日
資源エネルギー庁

エネルギー基本計画を踏まえた論点の全体像

- 本日は、今後の論点のうち、
 - ① 再生可能エネルギーの自立に向けた取組の加速化（多様な自立モデルについて）
 - ② 太陽光発電設備の廃棄対策
 - ③ 出力制御の予見性を高める情報公開・開示 について御議論いただきたい。



(参考) 再生可能エネルギーの自立に向けた取組の加速化

- FIT制度の創設当初は、「量」の拡大を重視し、固定価格と買取義務に依拠した売電モデルの下で、高コストで大量・多様なプレーヤーが再生可能エネルギー発電事業に参入。
- 世界的に脱炭素化へのモメンタムが高まり、再生可能エネルギーがコスト競争力のある主力電源となる中、我が国においても、再生可能エネルギーがFITから自立するための大きな転換が必要。
- こうした検討を通じて、「低コスト」かつ「適正」な再生可能エネルギーの量をしっかりと伸ばし、社会に安定的に定着させていくことが重要ではないか。

